

私は本格探偵小説が知識人に受け入れられぬ原因の最大のものは、その形式のマンネリズムにあると信ずる。つまり一方にマカ不思議な超人的迷探偵が思い入れよろしく低脳ぶりを発揮し、一方にそれと対してあまりにもナンセンスなバカ探偵が現れて、わかりきったクダラ又問答をくりかえす。とても読めるものじゃない。

「探偵小説を截る」坂口安吾